

学校名	金沢市立大野町小学校
授業者	浜田 希

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

環境にやさしいまち金沢・大野町 ～大野の海はきれい？～

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間（+宿泊体験学習）

1-4. 単元の概要

海が身近にあり、家族で海水浴や浜辺でバーベキューなどの海の体験は、本校児童にとって馴染みがある。しかし、回数や体験の種類などは家庭によって異なり、子どもたちの海への思いには大なり小なり差があるであろう。そこで、単元の始め「海に親しむ」では、宿泊体験学習や金沢港見学など、共通の体験を行う。

「海を知る」では、水質調査や清掃活動で、海の現状について課題を見つける活動を行う。水質調査はパックテスト（COD科学的酸素要求量の測定）を、大野川、大徳川と南極の氷（南極観測隊による出前授業でいただいたもの）で行い、測定結果について、のと里海教育研究所の浦田氏とオンラインで講義いただく。また、近くの金石海岸で清掃活動を行い、それぞれが抱いた疑問や課題を大きく4つに分け、グループワークを行う。

「海を守る」では、グループごとの調査結果についてプレゼンテーションソフトを使ってまとめ、同じ県内の能登町立小木小学校と交流する。さらには、地域に向けて発信をする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

大野町小学校は、金沢市の北部に位置し、日本海に面しています。近くには金沢港があり、毎年春の遠足には、全校児童で訪れている。金沢港は、大野川河口に位置し、重要港湾として、大型旅客船やコンテナ船、タンカーなど、多くの貨物船が出入りしている。また、近くには、砂浜が広がる金石海岸があり、夏には海水浴客で賑わっている。このように、当校児童にとって非常に近い存在である海を再認識し、大切な海を守り、海とともに生きる資質・能力の育成を目指し、単元を設定した。



さらに、金沢市では、郷土に愛着と誇りをもち、まちづくりの担い手を育む「金沢ふるさと学習」を行っている。本単元を通して、自分の住んでいる金沢、大野町の自然を理解し、地域の活動に積極的に参加したり、ゴミをなくしてみんなが気持ちよくくらしやすい町にしようとしたりして、愛着と誇りをもっていきようとする態度を育てていく。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p>○金沢の豊かな自然について、学校や地域の実情に応じた具体的な素材を取り上げ、その特色や自然環境に果たす役割について調べるなど単級的な学習活動を通して、自然を守るための取組等について知る。</p> <p>○金沢の自然について、情報を収集し、整理・分析、まとめ、表現することを通して、金沢の豊かな自然に愛着と誇りをもつとともに、それらが条例等によって守られている意味について考え、自然を大切にしようとする態度を身に付ける。</p>
--

1-7. 単元の展開（全 32 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導（・） / 主な評価（◇） 外部連携 / 使用教材等
課外 + 4	<p><u>海に親しむ</u></p> <p>○宿泊体験学習を通して、自然を生かした活動の楽しさに気付き、進んで海に関わるようにする。</p> <p>○身近にある金沢港の役割について知る。（4）</p>	<p>・海洋活動（カヌー）河川活動、磯観察などを行う。</p> <p>・金沢港湾・空港整備事務所のみなど見学会に参加する。</p> <p>◇川や海について関心をもち、進んで情報を収集している。（主体的に取り組む態度）</p>
18	<p><u>海を知る</u></p> <p>○海につながっている大野川、大徳川の水を調べる。（4）</p> <p>○水質調査の結果からわかることについて知る。（2）</p> <p>○海岸清掃を通して、海の環境について興味をもつ。（3）</p> <p>○拾ったゴミを分別し、流れ着くゴミの量や種類を調べる。（3）</p> <p>○身の回りにあるプラスチック製品について調べる。（2）</p> <p>○海洋プラスチックと海の生き物の関係について、調べる。（4）</p>	<p>・パックテストで調査を行う。</p> <p>・能登里海教育研究所、浦田慎氏から調査結果について教えてもらう。</p> <p>・金石海岸の清掃活動を行う。</p> <p>・「プラスチックの海」を視聴し（unic.or.jp）、海洋プラスチックの影響について、考えるきっかけをつかむ。</p> <p>・発表を見据え、課題を決め、グループワークを行う。</p> <p>◇海洋ゴミが及ぼす影響について調査し、グループで話し合う。（思考・判断・表現）</p>
10	<p><u>海を守る</u></p> <p>○これまでの調査を通して、自分たちにできる取り組みを話し合い、まとめる。（8）</p> <p>○まとめたことを地域に発信する。（2）</p>	<p>◇相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。（思考・判断・表現）</p> <p>◇海洋ゴミが及ぼす影響と、海を守るための取り組み等について知る。（知識・理解）</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ


単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

海岸清掃をして持ち帰ったゴミを分別することを通して、ゴミの種類や量、大きさなどに着目し、多くのゴミが海に流れ出ていることに気づき、驚きや疑問から自分なりの課題をもつ。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	・教師の指導・支援 / ◇評価の視点（方法）
<p>1 ゴミを分別した感想を出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックゴミがほとんどだった。</li> <li>・お菓子などの小袋が多かった。</li> <li>・予想と違って、外国から流れてきたゴミがなかった。このゴミはどこからきたのかな。</li> </ul> <p>2 学習のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>感想や疑問から、自分の課題を作ろう</p> </div> <p>3 課題を分類し、グループ課題を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックゴミが多さについて</li> <li>・ゴミが海洋生物に与える影響について</li> <li>・海に流れるゴミの行方について</li> <li>・世界のゴミ問題と取り組みについて など</li> </ul> <p>4 調べる計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで調べる</li> <li>・図書室や地域の図書館で調べる</li> <li>・関連した動画を視聴する</li> </ul> <p>5 学習のふりかえりと、次時への見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題がはっきりしたよ。グループで立てた計画に沿って調べていこう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べたことをもとに、自分たちでできることを考えて、地域に発信しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動時の海の様子を想起させるため、写真を提示する。</li> <li>・分別したゴミを提示し、種類や量、大きさを実感させる。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「プラスチックの海」を視聴し (unic.or.jp)、海洋プラスチックの影響について、考えるきっかけをつかむ。</li> <li>・発表を見据え、課題を決め、グループワークを行う。</li> </ul> <p>◇海洋ゴミが及ぼす影響について調査し、グループで話し合う。(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる計画を立てることで、発表までの見通しをもたせ、グループ内での自分の役割を意識させる。</li> <li>・自分たちができることを考えさせることで、身近な地域への環境に目を向けるようにする。</li> </ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

成果として、以下の2点を挙げる。

#### ○体験活動を中心とした導入による意欲を高める効果

大野町は海に面した地域ではあるが、海の体験や身近さは子どもによって家庭によって違う。宿泊体験学習での活動は一つの共通した体験となり、また、体験を通して感じた楽しさや高揚感は、子どもたちの心に強く残った。これらの体験によって、高い意欲を生み、長い単元でもモチベーションを保つことができた。



#### ○外部機関との連携による専門的な知識の獲得

今回は、金沢港湾・空港整備事務所、能登里海教育研究所各位にご協力いただき、説明を受けることができた。専門的な立場からの講義、説明は、新たな知識を得ることになり、学びを深めることができた。それだけでなく、自身も専門家になった疑似体験ができ、主体的に調べ学習に取り組む姿が見られた。



### 4. 今後の課題

#### ◎課題設定について

今回は、水質調査や海岸清掃のゴミの分別した時の感想や疑問から課題作りをしたため、子どもたちが作った課題は海洋ゴミの多さや海洋ゴミが及ぼす影響など、海洋ゴミそのものの課題が多かった。社会科で学習した漁業や港湾施設の仕事など、さまざまな立場から海洋ゴミをどのように思うのか、影響があるのかをインタビューし、社会的な側面から海洋ゴミ問題にアプローチすることがあっても面白かったと思う。子どもたちの視野が広がる機会としたい。

#### ◎情報収集の手段について

今回は、全部のグループがインターネットで調べていた。海に携わる人にインタビューをしたり、外部機関の方に質問したりするなど、インターネット以外の情報収集の手段を選択できるような工夫が必要だった。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やペー

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが  
い。フォーマットの指定はありません。

